

## 地方独立行政法人大阪府立病院機構 平成27事業年度業務実績に関する評価結果の概要（案）

大阪府地方独立行政法人  
大阪府立病院機構評価委員会  
（事務局：大阪府財務部行政改革課）

地方独立行政法人大阪府立病院機構の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府地方独立行政法人大阪府立病院機構評価委員会による評価を受けることとなっており、平成28年8月19日に開催された平成28年度第3回同評価委員会において、平成27事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

### 全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

- 「府民に提供するサービスその他の業務の質の向上」及び「業務運営の改善及び効率化」の2つの大項目評価について、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。
- 特に、以下のような取組みを評価した。
  - ・各病院が医療施策の実施、診療機能の充実・強化を図るとともに、優れた人材の確保に努め、診療機能充実のための基盤づくりを推進したこと。
  - ・各病院において、地域医療機関との連携強化により新入院患者の確保に努めるとともに、新たな施設基準の取得等により、全病院において医業収益が前年度実績を上回ったこと。
  - ・新薬開発への貢献や治療の効果及び安全性を高めるため、各病院で積極的に治験を実施したこと。
- 委員会コメント
 

法人設立から10年が経過し、行動目標自体が前年度を踏襲した継続的な設定となっており、時代の変化に対応した具体的なものとなっていないものも見受けられた。

行動目標の設定にあたっては、各病院の特性や個別性を踏まえた取組が充実できるよう工夫されたい。

大項目	評 価					主な判断理由・特記事項
	S	A	B	C	D	
府民に提供するサービスその他の業務の質の向上	S	A	B	C	D	専従医を配置した救急初期診療センター（ER部）を設置し、救急車搬入患者数・入院患者数も増加するなど、各病院の診療機能の充実・強化を図り、それぞれの病院の特性に応じた高度専門医療を提供し、高い目標に向けて努力していることを評価。 新薬開発への貢献や治療の効果及び安全性を高めるため、各病院で積極的に治験を実施など、他の項目においても中期計画を着実に進捗していることを確認。
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	医業収益は前年度と比較して増加。併せて医業費用も増加しているものの、法人全体での経常収支比率、医業収支比率は目標・前年度を上回る結果となっていることを評価。 また、診療報酬精度調査を実施し、内容を分析して、各病院の精度調査結果を5病院間で共有化するなど、収益増加に向けた取組みや、SPDの活用による材料費縮減などの経費節減の取組みを着実に進めていることを確認。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている  
D：重大な改善事項あり